

国際バカロレア（IB）評価読み取り表

IB ディプロマ・プログラム（IBDP：大学入学につながるプログラム）は、6 科目 3 要件によって構成されている。

表 1 IBDP の構成

		科目
グループ 1	第一言語	A1 言語 HL/SL（母語又はそれに準ずる言語）の文学学習と世界の文学鑑賞と理解等
グループ 2	第二言語	A2 言語 HL/SL（第一言語に準ずる高度なバイリンガル言語能力） B 言語 HL/SL（既習外国語：中級-上級） AB initio 言語 SL（未習外国語：初級） ラテン語 HL/SL、古典ギリシャ語 HL/SL 等
グループ 3	個人と社会	歴史 HL/SL、地理 HL/SL、経済 HL/SL、哲学 HL/SL、心理学 HL/SL、文化及び社会人類学 HL/SL、ビジネスと経営学 HL/SL、イスラム世界の歴史 HL/SL、グローバル社会における情報技術 SL 等
グループ 4	実験科学	生物 HL/SL、化学 HL/SL、物理 HL/SL、環境システム SL、デザイン技術 HL/SL 等
グループ 5	数学とコンピューター科学	数学 HL、高等数学 SL、数学的方法 SL、数学的研究 SL、コンピューター科学 HL/SL 等
グループ 6	芸術と選択科目	美術・デザイン HL/SL、音楽 HL/SL、演劇 HL/SL、または上記グループ 1-5 からもう 1 科目選択、IB 機構の承認を得た認定校作成のシラバスに基づいた科目 SL 等

（HL：上級レベル、SL：標準レベル）

出典：河合久（2007）、p.5 より

生徒は、上記の 6 グループから、大学で専攻したい科目や得意な科目を上級レベル（HL: Higher Level）として通常 3 科目（最大で 4 科目）選び、それ以外の 3 科目（あるいは 2 科目）を標準レベル（SL: Standard Level）として履修する。HL は、2 年間で 1 科目/240 時間以上、SL は、1 科目/150 時間以上の履修時間が必要とされている。

さらに、IBDP 取得のためには、3 要件も満たす必要がある（表 2 参照）。

表 2 IBDP の 3 要件

要件 1 Extended Essay (課題論文)	独自の調査研究した課題を学術論文として記述し、提出する。 6 科目の中から 1 つの科目に関連した研究課題を生徒自らが決め、担当教員の指導の下に研究調査を行ない、その結果を英文 4,000 語 (日本語 8,000 字) 以内の学術論文にまとめる。
要件 2 Theory of Knowledge (TOK: 知識の理論)	知識の理論の講義と演習を 2 年間学習し、小論文と口頭発表作品を提出する。最低 100 時間の学習が義務づけられている。 知識を吸収するだけでなく、学術的な観点から個々の学問分野の知識体系を吟味し、理性的な考え方や客観的精神を養うことを重視している。
要件 3 CAS (創造性・活動・社会奉仕)	芸術・音楽・演劇などの創造的活動、スポーツなどの活動、社会奉仕活動に従事する。 学問以外の生活の重要性を真摯に受け止めさせるために、2 年間でそれぞれ最低 50 時間ずつ、合計 150 時間以上の活動が要求されている。

出典：河合久 (2007)、p.6 より

IB の教科の評価は、7 段階に分かれており、4 点以上を合格としている (表 3 参照)。IB 資格が与えられるのは、原則として 6 科目の合計で 24 点以上を得たもののみである。ただし、学科試験で合計 24 点を獲得しても、3 要件を満たしていない者は、IB 資格を取得できない。最高点は、6 科目すべて最高点を取った場合の 42 点 (6 科目×7 点) と「課題論文」と「知識の理論」の両方で優秀な成績を収めた生徒に対して授与される 3 点の合計で、45 点になる。

表 3 IB の試験の評価

合格点 (最高点)	7	Excellent
合格点	6	Very Good
合格点	5	Good
合格点	4	Satisfactory
不合格	3	Mediocre
不合格	2	Poor
不合格 (最低点)	1	Very Poor

出典：河合久 (2007)、p.7 より

IBDP のガイドの総則第 9 条に DP 授与に関しては、下記のように示している；

第 9 条 ディプロマ授与

IB ディプロマは、24 点を上回る得点を残したものに与えられる。

- 1項 段階評価がディプロマ・プログラムの 6 つの科目に与えられる。
- 2項 「知識の理論」を修め、評価基準を満たしている。
- 3項 「課題論文」が提出され、評価されている。
- 4項 生徒は適切な、創造性、活動、社会奉仕（CAS）の活動に従事していた。
- 5項 上級レベル（HL）で取った科目に 1 の評価がない。
- 6項 24 点から 27 点までの成績の場合、下記落第条件に一つもあてはまらない。
- 7項 28 点以上の成績の場合、下記落第条件は一つまで。
- 8項 最終評価委員会が、生徒の評価過程において不正に良い成績を取ろうとした違反行為を確認していない。

落第条件：生徒が以下の落第条件の一つでもあてはまる場合、IB 資格は授与されない。

- 9項 「知識の理論」、「課題論文」両方とも初歩的という評価だった場合。
- 10項 上級レベル（HL）でとった科目で 2 の評価があった場合。
- 11項 上級レベル（HL）で 3 の評価をとった場合、他の上級レベル科目での 5 ないしそれ以上の評価でも埋め合わせにはならない。
- 12項 標準レベル（SL）で 1 の評価をとった場合。
- 13項 標準レベル（SL）で二つ以上 2 をとった場合。
- 14項 3 の評価を四つ以上とった場合。
- 15項 標準レベルに 2 がある場合で、3 が二つ以上ある場合。

なお、3 要件を満たしていない場合、IB ディプロマではなく、IB certificate（証書）が授与される。

「課題論文」の評価基準

「課題論文」は、一般評価基準（General Assessment Criteria）と教科評価基準（Subject Assessment Criteria）によって評価される。一般評価基準は、次の A~H の 8 つの基準が設定されている。

- A. 研究課題（Research question）の絞り込みと明確さ
- B. 研究課題に対する研究方法（Approach to the research question）
- C. 分析/解釈（Analysis/Interpretation）
- D. 論拠/評価（Argument/Evaluation）
- E. 結論（Conclusion）
- F. 要約（Abstract）

G. 形式に沿った提示 (Formal Presentation)

H. 総合的判断 (Holistic Judgment)

各一般評価基準には、数段階の到達度を表す記述子 (descriptor) によって定義されている (各基準 2~3 の記述子)。課題論文の質は、各 8 つの基準の到達度を判定し、それを合計することによって評価される。そのため、課題論文の一般評価基準での最高点は 24 点になる。

教科評価基準については、各生徒が課題論文のテーマとして選択した教科によって基準が異なっている。例えば、歴史に関する課題論文であれば、次のような評価基準となる；

J. 史料

K. 歴史に関する知識と理解

L. 歴史に関する情報/証拠の選択と活用

M. 批判的な分析と歴史に基づく判断

教科評価基準での最高点は 12 点になる。

一般評価基準の得点と教科評価基準の得点の総計が A~E の評価となる。

合計：一般評価基準 (/24)

合計：教科評価基準 (/12)

総計 (/36)

評価：

A. 優秀 (30-36)

B. 良 (25-29)

C. 可 (17-24)

D. 普通 (9-16)

E. 初歩的 (0-8)

知識の理論 (Theory of Knowledge: TOK) の評価基準

TOK では、1200~1600 語の小論文を書くことが求められる。TOK 小論文は、IB 機構の試験官による外部評価が行なわれることになっており、以下の A~F の 6 つの評価基準に照らして評価される (表 4 参照)。各基準で最高レベルの内容であれば 40 点を獲得する。

表 4 TOK 小論文外部評価基準

基準 A 知識に関する点：知識に関する諸問題は、認められ、理解され、主張されているか。						
	10	8	6	4	2	0
認識と理解	卓越	優秀	充分	乏しい	とても乏しい	なし

TOK と筆者との関連性	一貫して関連し、目的性がある。生徒の意見を反映している。	一貫して関連している。生徒の意見を反映している。	概ね関連している。大部分は、意見を反映している。	概して関連がない。	関連がない。	関連がない。
基準 B 分析の質：知識の問題/反対意見は批判的かつ思慮深く扱われているか。						
	10	8	6	4	2	0
批判的意見と洞察	卓越した批判的意見と洞察	優れた批判的意見と洞察	十分な批判的意見。いくらかの洞察	低レベルの批判的意見。	非常に低いレベルの批判的意見。	なし。
反対意見の認識	反対意見が示され、徹底的に評価されている	反対意見が示され、評価されている	反対意見が示されている	なし。	なし。	なし。
論法	詳細で効果的な、説得力のある論考	詳細で、説得力のある論考	適切に詳述され、概ね説得力がある	表面的であるか、説得力に欠ける論考	完全に表面的であるか、説得力に欠ける論考	なし。
基準 C 広がりに関連性：異なった知識の方法及び異なった知識の領域の認識とつながりは。						
	5	4	3	2	1	0
知識の方法/領域の認識	卓越した認識。効果的なつながりおよび/または適切な比較	優れた認識。適切なつながり、または比較	十分な認識。適切なつながり、または比較	認識に乏しい。つながりや比較が必ずしも適切とは限らない	非常に認識に乏しい。つながりや比較が不適切	認識が全くない。
基準 D 構成、明確性、論理的一貫性：(ここでは言語能力は問わない)						
	5	4	3	2	1	0
構成	卓越した構成。簡潔な導入と効果	優れた構成。簡潔な導入と明確	十分な構成。主要な論点は伝わ	構成が稚拙	構成が非常に稚拙	構成がなされていない

	的な結論	な結論	る			
明確性と論理的な一貫性	明確で論理的に一貫している。概念と特質の明確な定義が簡潔になされている	明確で論理的に一貫している。概念と特質の明確な定義がなされている	適切な明確性及び論理的な一貫性	明確性及び論理的な一貫性に乏しい	明確性及び論理的な一貫性に大変乏しい	不明確で論理的な一貫性に欠ける。課題との関連性がない
基準 E 例証：小論文は、個々の資料から引用された適切な例証の裏付けがあるか。						
	5	4	3	2	1	0
質	一貫して簡潔、適切、効果的	一貫して適切	概ね適切	ほとんど適切ではない	不適切	関連がない
範囲	広範な種類。自身の経験。高度な文化的多様性	多様な例証。自身の経験。ある程度の文化的多様性	十分な多様な例証。	限られた種類の例証	種類に乏しい例証	関連した例証がない
基準 F 事実の正確性と信頼性：「事実」は正確か。資料は正しく引用されているか						
	5	4	3	2	1	0
事実の正確さ	卓越している	優れている	充分である	低レベル	非常に低レベル	なし
資料	信頼できる。承認された取り決めに則って一貫して正しく引用されている	優れている。承認された取り決めに則って正しく引用されている	概ね信頼できる。大部分は承認された取り決めに則って正しく引用されている	ほとんど信頼性にかけるかもしくは、承認された取り決めに則って正しく引用されていない	信頼性に欠け、そのうえ承認された取り決めに則って正しく引用されていない	どの資料も信頼性に欠けるかもしくはは正しく引用されていない

出典：河合久（2007）、p.28 より

また、内部評価は、生徒の口頭発表と自己評価レポートを指導教官が評価することになっている。これは、A~Dの4つの評価基準に照らして評価され、各基準で最高レベルに到達していれば20点になる。TOK内部評価基準は以下のとおりである（表5参照）；

表5 TOK内部評価基準

基準A 知識に関する点：知識に関する諸問題は、認められ、理解されているか。						
	5	4	3	2	1	0
認識と理解	卓越	優秀	充分	乏しい	とても乏しい	なし
TOKと筆者との関連性	一貫して関連している。	一貫して関連している。	概ね関連している。	概して関連がない。	関連がない。	関連がない。
創造力と獨創性	双方とも高いレベル	どちらも認められる	いくらかの創造力	なし	なし	なし
基準B 分析の質：知識の問題/異なる観点は批判的かつ思慮深く扱われているか。						
	5	4	3	2	1	0
批判的意見と洞察	卓越した批判的意見と洞察	優れた批判的意見と洞察	充分な批判的意見。いくらかの洞察	低レベルの批判的意見。	非常に低いレベルの批判的意見。	なし。
問題と取り組み	問題と徹底的に取り組んでいる	問題とある程度深く取り組んでいる	適切に取り組んでいる	概ね表面的。取り組みは不適切	全く皮相的。取り組みは不適切	なし。
多様な観点の識別	明確に識別され、完全に認識されている	ある程度識別され、認識されている	いくらかの識別と認識	ほとんど識別されていない	ほとんど意図されていない	全く意識されていない
論法の論理的厳密さ	論理的説得力がある。適切な正当化	論理的説得力がある。一貫した正当化	概ね説得力があり、正当化されている	あまり説得力がない。主要点が正当化されていない	主張がないか、もしくは全く根拠に欠け、正当化されていない	なし。
主要点の含	綿密で考え	考え抜かれ	いくらかの	なし。	なし。	なし。

みに対する 関心	抜かれてい る	ている	意見がある			
基準 C 作品における知識：発表は、現代の問題に TOK の知識をどの程度まで応用しているか。						
	5	4	3	2	1	0
現代の問題 への応用	卓越。抽象 的原則の明 確で効果的 な応用	優秀。抽象 的原則の明 確な応用	充分。抽象 的原則が問 題に関連し ている	乏しい。抽 象的原則を 問題に関連 づける努力 がいくらか 見られる	非常に乏し い。抽象的 原則を問題 に関連づけ る努力がほ とんどない	問題と TOK との 関連性が全 くない
基準 D 明確性：発表は明確で論理的に一貫しているか（ここでは語学能力は問わない）						
	5	4	3	2	1	0
明確性と論 理的一貫性	卓越	優秀	充分	乏しい	とても乏し い	なし

出典：河合久（2007）、p.29 より

TOK 小論文に対する外部評価（最高点 40 点）とその小論文についての口頭発表等の内部評価（最高
点 20 点）との合計、0~60 点までの間で決定された総合点を用いて、TOK 小論文が以下のクラスに分類
される。

- A. 優秀
- B. 良
- C. 可
- D. 普通
- E. 初歩的

※ 配点については不明。

ディプロマ・ポイントの付与

課題論文は、知識の理論と総合してポイントが与えられる。各生徒の課題論文と知識の理論の両方
での総合成績に応じて、最大で 3 ポイントが与えられる（表 6 参照）。

表6 ディプロマ・ポイント・マトリックス

課題論文と知識の理論

		知識の理論					
		優秀	良	可	普通	初歩的	未提出
課題論文	優秀	3	3	2	2	1	N
	良	3	2	1	1	0	N
	可	2	1	1	0	0	N
	普通	2	1	0	0	0	N
	初歩的	1	0	0	0	落第	N
	未提出	N	N	N	N	N	N

出典：河合久（2007）、p.25 より

課題論文を提出できなかった生徒は、課題論文が N つまりポイント無しとなり、ディプロマを取得できない。また、課題論文と知識の理論の両分野において初歩的レベルの成績であった場合、ディプロマの授与は認められない。

IB 取得による大学入学要件

日本の大学（例）

大学名	入試形態	入学要件
早稲田大学	AO 入試 (書類審査と面接)	学部・学科ごとに履修すべき科目を指定
慶応義塾大学	帰国生および IB 資格取得者 対象入試 (書類審査と面接)	学部・学科ごとに履修すべき科目を指定 (IB 入試は、日本国内の高校または、インターナショナルスクールで IB を取得した者に限る。海外からの IB 取得者は、帰国生入試または留学生入試を受験)
筑波大学	IB 特別入試 (書類審査と面接)	学部・学科ごとに履修すべき科目を指定
岡山大学	IB 入試 (書類審査と面接)	A 1 言語又は A 2 言語を日本語により履修し成績評価が 4 以上の者で、かつ、グループ 6 (芸術) 以外の 1 科目を上級レベル (Higher Level) により履修し成績評価が 4 以上の者
玉川大学	国際バカロレア AO 型 入学審査	日本語を母語とする者、または Japanese B を HL で履修し、成績評価が 4 以上の者。

	(書類審査)	
工学院大学	IB 特別入試 (書類審査、小論文と面接)	日本国籍を有し、IB を取得した者
関西学院大学	グローバル入試 IB 入試 (書類審査、英語筆記試験、 日本語小論文、面接)	IB 最終成績 26 点以上の者
横浜市立大学	IB 特別入試 (小論文と面接)	日本国籍を有し、IB を取得した者
大阪大学	世界適塾入試	入学要件 IB 最終成績 38 点。文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部にて IB 入試を実施。
上智大学	IB 入試 (書類審査)	IB を取得した者
国際教養大学	AO・IB・高校留学生入試 (書類選考、英語小論文と面接)	IB を取得した者
国際基督教大学 (ICU)	帰国生特別入試 (小論文とグループ面接)	IB を取得した者
立命館アジア太平洋大学 (APU)	AO 入試 (書類選考と面接)	IB を英語で取得した者

出典：各大学入試課ホームページからの情報を基に筆者作成

- ・ 日本の大学では、IB の最終試験で何点取らなければならないといったような基準は特に指定されておらず、日本国籍を有し、IB を取得した者、または学部・学科ごとに履修すべき科目を指定しているケースが多い。

イギリスの大学 (例)

大学名 (大学ランキング順位)	入試形態	入学要件
University of Cambridge (1)	書類選考と面接	IB 最終成績 40-41 点。HL の 3 科目の成績の合計が 20 点(7,7,6)
University of Oxford (2)	書類選考と面接	IB 最終成績 38-40 点。HL の科目で 6-7 点。
Imperial College London (4)	書類選考	IB 最終成績 38 点。
University College London (13)	書類選考	IB 最終成績 36 点。

University of Bristol (15)	書類選考	IB 最終成績 32-38 点。学部・学科ごとに異なる入学要件。
University of Birmingham (18)	書類選考	IB 最終成績最低 32 点。
King's College London (23)	書類選考	IB 最終成績 32-35 点。学部・学科ごとに異なる入学要件。
The University of Sheffield (27)	書類選考	IB 最終成績 32-38 点。学部・学科ごとに異なる入学要件。
The University of Manchester (28)	書類選考	IB 最終成績 32-37 点。学部・学科ごとに異なる入学要件。
University of Reading (29)	書類選考	IB 最終成績 32-35 点。学部・学科ごとに異なる入学要件。

出典：各大学入試課ホームページからの情報を基に筆者作成

- ・基本的に、どの大学でも IB の最終成績で修めるべき成績水準を定めている。

引用文献・資料・URL

- 河合久 (2007) 「国際バカロレア・プログラムにおける教科外活動の位置づけと評価方法に関する研究」、平成 17・18 年度科学研究費補助金 (基盤研究 C) 研究成果報告書
- 国際バカロレア専門メディア、<https://ibjpn.com/ib> 入試実施大学/ (2016 年 4 月 27 日最終閲覧)
- 早稲田大学入試課ホームページ、http://www.waseda.jp/sils/jp/e_student/exam/ao_list.html#tit91 (2016 年 4 月 27 日最終閲覧)
- 慶應義塾大学入学センターホームページ、<http://www.admissions.keio.ac.jp/exam/kikoku.html> (2016 年 4 月 27 日最終閲覧)
- 筑波大学 (2014) 「国バカロレア特別入試 学生募集要項」、https://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad/pdf/h27_ib_youkou.pdf (2016 年 4 月 27 日付ダウンロード)
- 岡山大学 (2015) 「国際バカロレア入試 (AO 入試)」、https://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/soumu-pdf/press24/press-121227-2.pdf (2016 年 4 月 27 日付ダウンロード)
- 玉川大学大学入試課ホームページ、http://www.tamagawa.jp/uni_admission/examination/aoi/ (2016 年 4 月 27 日最終閲覧)
- 工学院大学入試課ホームページ、<http://www.kogakuin.ac.jp/admissions/requirement/recom/kokusai-b/> (2016 年 4 月 27 日最終閲覧)
- 関西学院大学 (2015) 「グローバル入学試験要項・ガイド 2015」、

<http://www.kwansei.ac.jp/admissions/img/pdf2015/global/youkou.pdf> (2016年4月27日付ダウンロード)

横浜市立大学入試課ホームページ、http://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/faculty/tokubetsu_faq.html
(2016年4月27日最終閲覧)

グローバル・エデュホームページ、<http://gloaledu.jp/世界適塾入試-9734.html> (2016年4月27日最終
閲覧)

上智大学入試課ホームページ、
https://www.sophia.ac.jp/jpn/admissions/gakubu_ad/fla_ad/fla_ad_syousai2016 (2016年4月27日最
終閲覧)

国際教養大学(2015)「学生募集要項特別選抜試験」[http://web.aiu.ac.jp/examinee/files/2016/02/2016_AO
II_returnee_youkou.pdf](http://web.aiu.ac.jp/examinee/files/2016/02/2016_AO_II_returnee_youkou.pdf) (2016年4月27日付ダウンロード)

国際基督教大学入試課ホームページ、<https://www.icu.ac.jp/en/admissions/> (2016年4月27日最終閲覧)

立命館アジア太平洋大学、<http://www.apumate.net/examination/ao/> (2016年4月27日最終閲覧)

University of Cambridge, Admissions Office Website,

<http://www.undergraduate.study.cam.ac.uk/applying/entrance-requirements/international-baccalaureate> (2016年4月27日最終閲覧)

University of Oxford, Admissions Office Website,

<https://www.ox.ac.uk/admissions/undergraduate/courses/entrance-requirements?wssl=1> (2016年4
月27日最終閲覧)

Imperial College London, Admissions Office Website,

<http://www.imperial.ac.uk/electrical-engineering/study/undergraduate/entry-requirements/> (2016年
4月27日最終閲覧)

University College London, Admissions Office Website,

<http://www.ucl.ac.uk/prospective-students/undergraduate/application/requirements/international-baccalaureate> (2016年4月27日最終閲覧)

University of Bristol, Admissions Office Website,

<http://www.bristol.ac.uk/international/countries/baccalaureates.html> (2016年4月27日最終閲覧)

University of Birmingham, Admissions Office Website,

<http://www.birmingham.ac.uk/undergraduate/requirements/index.aspx> (2016年4月27日最終閲覧)

King's College London, Admissions Office Website,

<http://www.kcl.ac.uk/study/undergraduate/apply/entry-requirements/index.aspx> (2016年4月27日
最終閲覧)

The University of Sheffield, Admissions Office Website,

<https://www.sheffield.ac.uk/undergraduate/apply/international-qualifications> (2016年4月27日最終
閲覧)

The University of Manchester, Admissions Office Website,

<http://www.manchester.ac.uk/study/undergraduate/applications/entry-requirements/uk-entry-requirements/#ib> (2016年4月27日最終閲覧)

University of Reading, Admissions Office Website,

<https://www.reading.ac.uk/15/Study/study-ug-academic-reqs.aspx> (2016年4月27日最終閲覧)

IB 機構 (2015) 「「知の知論」(TOK) 指導の手引き」、

<http://www.ibo.org/contentassets/93f68f8b322141c9b113fb3e3fe11659/tok-guide-jp.pdf> (2016年4月27日付ダウンロード)